

委任状を取つて 堂々と賃銀を横領

泣く々々坑夫等が告訴 極悪非道な新手の詐欺

炭礦界の不況が引き起す告訴が最近激増し平署の司法主任を悩まして居るが二十五日提起された告訴は一般の者が想像も出来ない極悪非道な取調への進展につれゆゑしき社會問題を引き起さないとも限らないので

同署では 慎重な態度で極秘裡に取調への進行を計つてゐる告訴の内容は秘密にされて居るが石城郡下の某炭礦では係員が従業員全部から賃金受取の委任状をとつて會社から實際に賃金を受取つたかどうかわからないが賃金

坑夫が引揚 涙金を懐に

關口愈よ廢礦

舊歲末に迫つて廢坑の悲運に見舞はれ廢坑反對の氣勢を擧げた茨城縣關口炭礦の坑夫等四百五十名も結局本番最高一圓四分の涙金で泣き寝入りとなり會社の方針通り磐城炭礦へ轉ずる事となり廿五日を以て探炭期日を終り全山は寂しく閉ざされた

無暗に手放す 農民が 米價の調節

石城郡大浦村農業倉庫では共同米四千俵の第一回大口販賣を近日行ふことに決定したが同地方産米は中央市場とは比較的高値に取引されてゐるも地方的には相當の隔りあり殊に舊年末を目前に控へて農民は無暗にこれを手放す傾向があるのでこの點を改善するか乃至は農倉で一時立替へ中央市場と取引するかを考究するため二十四日農業倉庫に事務員を中央市場に派したたがその結果は頗る注目されてゐる

四電供給區域 豫て

四ツ倉電氣株式會社から計可申請中の同郡大野村一圓に對する同社供給區域編入の件は縣に於て調査の結果適當なるものと認め二十五日加勢知事から久原遞相に具申した

舊年末を控へて 救済資金が欠乏

平人事相談所弱る

平人事相談所では舊年末に差掛つてゐる事として恒例により貧困者に對し救済方法を講ずべく目下調査準備中であるが根本とすべき救済資金の缺乏を

來して みる事として

術の施しやうも無く全く困り切つてゐるこれについて同係の平署平山警部補は語る「新年末には幸ひ米五俵と云ふ寄贈者があつた爲町内貧困者へ夫れく配當したので非常に助かつたが今度には資金のない事としてこの舊年末には如何なる方法で



あなごかし お吸物二種

◆いとこ汁 小豆を少し固い位に汁を澤山にして煮ました其中へ牛蒡、人参、大根などを何れも小さな賽の目に切つて煮ます、これは生臭くない方がよいのですから味の素を程よく加減をして食鹽と醬油で味付けをします、淡泊で非常に温まるお料理です。

◆粕汁 これは鹽鮎でも鹽鮎でも宜らしいのでございませう。まづ大根をせんに切り、だじで一寸煮たところへ鹽魚を五分位の賽の目に切つて入れ、別に酒の粕を二三時間お湯で軟かにしておいて摺鉢でよくすりませ、それを前の煮立つた鉢に入れてとがします、魚の鹽味が出てをりますから、食鹽と醬油を少々入れて味を附けます。

入學用品の 値段しらべ

小學校の入學期も近づいて學齡に達した坊ちゃん、嬢ちゃんを持つ家庭では愛兒の爲めにどんな學校用品を買つて上げたらいゝでせうか左に市内某店の新學期用品の値段を掲げて見ませう

錢よりノート雜記用八錢より筆入セルロイド製三十錢より同革製三十五錢より同布製三十錢より同木製二十五錢よりインクスタンド硝石製五十錢より同木製一圓五十錢より同アンチ製五十錢より

水産校昇格 計畫を進む

石城郡小名濱町水産補習學校は創立以來非常に成績を収め年々入學者も増加することゝ漁業地として將來東北に雄飛する同町としてはこれを甲種程度に昇格する必要ありと目下考究中である

海軍志願 割當人員八六

石城郡内海軍志願兵検査は二月六七の兩日元石城郡役所で執行するが執行官は藤崎機關中佐瀬層軍醫と決定したなほ郡の割當人員は八十六名である

差押品公賣

平町に於ける昭和三年度前期特別戸數割の滞納者は依然として多く愈々滞納處分

江名の造林

石城郡江名町に於ては曩に御大禮記念事業として町長河野嘉藏氏の創意及縣當局の懇懇に基き現在の部落有財産を原野百四十二町六百歩其他田畑宅地山林等八百歩の統一を企畫研究した結果

募集

文藝其他投稿を募集します

平窪の童話會

石城郡平窪小學校にては昨廿七日午後一時より講堂に於て童話會を開き可憐なる兒童の演技數番あつて後同校訓導官島てる子氏の「赤チャ

民謡演奏大會

河北新報社主催民謡演奏大會は卅一の兩夜平館に開催される等であるが入場料は五十錢及卅錢にて後藤藤水、吉木桃園、赤間森水、八木壽水の諸氏出演餘興に福島熊田三郎氏の奇術がある

も直接間接に可成り莫大なるものである人事相談所の仕事を充分諒解してゐる人があつて救済資金として寄附でもして呉れる様な篤志家が現はれると非常に助かるのだが今の處ではどうにも手が出せない

果前記部落地中十九町五百歩を縁故特賣に附し次に三十五町六百歩を町有に歸屬せしめ餘九十町歩に對して關係部落が使用収益する事に決定し、今後町有にすべき三十五町歩の三分の一に對しては今春中適當の季節に於いて赤松及びクヌギを植樹する事になつたが從來部落有財産である該原野は普通の草原地等と異り全區域三分の内外には既に直徑三寸位の立木簇生し平擔な林相を爲してゐるので今後の植林と相俟つて造成の施設宜しき時はこれによつて生ずる將來の収益は莫大なものであらうと